

地域おこし協力隊活動報告

～ 地域おこし協力隊として、今、お伝えしたいこと ～

令和7年3月26日

農林水産課 田中 あき



江里山地域の活性化と情報発信

主な活動内容

- ① 地域コミュニティ
- ② 広報活動
- ③ 棚田の保全と利活用

江里山 × 地域おこし協力隊 ~ 4年間の活動報告 ~



みなさん、新年を迎えられ、いかがお過ごしでしょうか？今年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

今年の3月に、棚田げんきスタッフ（小城市地域おこし協力隊）としての活動が終了します。そこで、1月～3月のだんだんだよりでは、2021年から始まった江里山での活動を、3つのテーマ（地域コミュニティ・広報活動・棚田の保全と利活用）に分けて振り返ります。1月は地域コミュニティ編です。コミュニティへの仲間入りと、そのコミュニティを少しだけ深める・広げるお手伝いができたかなと思っています。



地域をきれいに保つ、神様に感謝する、地域のために働く、みんなで作業し、みんなで地域を盛り上げる。地域外の人でありながら、私もその輪の中に入れていただき、みなさんと時間を共有してきました。わずか4年ですが、みなさんと関わりながら、少しずつ地域に愛着や誇りを持つようになり、それが、私の活動のモチベーションにつながりました。地域を好きになることは、地域づくりの原点ですね。江里山のファンとしてこれからも関わっていきたくと思っていますので、よろしくお願ひします。



とっても美味しい江里山の郷土料理「さしみこんにゃく」は、交流の場をつくる1つのツールにもなっています。加工グループのみなさん、協力隊仲間、海外からのお客さま、私の友人など、みんなでこんにゃくを囲みながら、笑いの絶えない時間を過ごすことができました。

こんにゃくづくり体験企画

こんにゃくメンバーと
えりやまの風メンバー交流



みんなで集まって話をするだけの時間ですが、毎回楽しみに参加をしてくださっている方もいて、企画してよかったなと思っています。当初は、違う目的で始めた座談会ですが、このスタイルのまま続けていく予定です。美味しい食べ物や自由気ままな会話を、これからもみんなで楽しみましょう！



コミュニティ誌「だんだんだより」

棚田げんきスタッフの活動を
写真とともに振り返ります



江里山 × 地域おこし協力隊 ~ 4年間の活動報告 ~

だんだんだより2025.2月号

1月~3月のだんだんだよりでは、2021年から始まった江里山での活動を、3つのテーマ（地域コミュニティ・広報活動・棚田の保全と活用）に分けて振り返っています。2月は広報活動編です。この4年間では、SNS（Instagram）を中心に「江里山の情報」を発信してきました。活動を続けていくにつれて、江里山のことをメディアに取り上げていただいたり、出前講座や講演の依頼も増えたりしていきました。1アクションで反応はなかなか返ってきませんが、続けていると、どこかで誰かの目に留まり、地域への関心につながっていきますね。



Instagram (2021年~)

江里山の風景や出来事などを、写真を使って発信しています。特に、彼岸花の時期に発信する開花情報は、多くの方に見ていただいているので、ほぼ毎日更新しました。

気になる方はコチラから ▶



江里山の棚田展 (2022年)

小城市牛津産業まつりで、江里山の棚田展を開催しました。美しい景色や地域活動などの写真を展示し、「彼岸花だけじゃない江里山の魅力」をPRしてきました。多くの方に江里山を知っていただく良い機会になりました。



出前講座・講演 (2023年)

市内の中学・高校や、地域づくり関係の講演会で、江里山での活動についてお話をさせていただきました。江里山の紹介だけでなく、地域課題や地域外からの様々な支援にも触れ、江里山や棚田地域の現状を知ってもらいました。

様々なメディア

広報活動を色々な形で支援していただきました。



朝日新聞 2021年9月24日付



小城市広報「さくら」No.208 (2021年12月20日発行)



閲覧は
コチラ



棚田情報誌 さが棚田だより「つなぐ」2022年号

閲覧は
コチラ



小城市ホームページには
「だんだんだより」を
掲載していただいています / 閲覧は
コチラ ▶



佐賀新聞 2022年6月18日付



視聴は
コチラ



小城市情報発信番組 おぎぶら
第29話「江里山」編



視聴は
コチラ



小城市YouTube番組 おぎツクール
第46回「江里山に地域おこし協力隊がやってきた」編



読売新聞 2025年1月5日付



江里山 × 地域おこし協力隊 ~ 4年間の活動報告 ~

だんだんだより2025.3月号

1月~3月のだんだんだよりでは、2021年から始まった江里山での活動を、3つのテーマ（地域コミュニティ・広報活動・棚田の保全と利活用）に分けて振り返っています。3月は 棚田の保全と利活用編 です。活動を始めて、棚田とその役割を知りました。そして、棚田や地域を守っていくために、私に何ができるのかを考えながら過ごしてきました。先頭に立って、何か新しいこと や スゴイこと を成し遂げたわけではありませんが、みなさんの思いを自分なりに汲み取り、色々なことに挑戦させていただいた4年間でした。みなさん、今まで大変お世話になりました。ありがとうございました。そして、今後ともよろしくお願いたします。



二十日会のみなさんと始めた、**酒米づくり**。きっかけをつくってくださった人、メンバーをまとめて酒米づくりをスタートさせてくださった人、この取り組みが上手くいくように協力してくださっている方々、そして、大変なこともあるけれど、酒米づくりを続けている二十日会のメンバー。色々な人がつながり、関わってつくられた江里山の酒米は、昨年、お酒となって全国のみなさんに飲んでいただくことができました。“江里山の棚田を守っていきたい”と勢いだけで始めた**バジル栽培**は、結果的に止める決断をしましたが、地域のみなさんを始め、多くの方々に支援をしていただき、私を感謝の気持ちでいっぱいにしてくれました。活動がスタートした頃から関わっている **たなだ部** は、中高生が、棚田で活動をするということによって何を思い、感じてくれているのかを教えてください。地域外の方々が **棚田ボランティア** として関わってくださる取り組みは、農地保全の担い手問題を抱えた地域の、大きな支えとなっています。



棚田の保全や利活用について、私は、個人やグループでできることを続けながら、地域外の方々にも支援していただくことが必要だと思っています。 **今後は**、地域と地域外をつなぐ役割を担えたらと考えています。





協力隊としてお伝えしたいこと

- ① 小城市への感謝
- ② “関心” がうれしい
- ③ 聴いてもらえる安心感
- ④ 市民のみなさんの声
「職員さんと話したい」



江里山と私のこれからについて

活性化のキーワード

「課題解決の積み重ね & 地域外とのつながり」

- ① “えりやまみらい会議” で課題解決の糸口を探る
- ② 地域外とのつながりを支援

地域おこし協力隊活動報告

～ 地域おこし協力隊として、今、お伝えしたいこと ～



4月から集落支援員
として活動します。
引き続き、よろしく
お願いします。

令和7年3月26日

農林水産課 田中 あき